

2015 年 7 月 4 日～5 日

甲武信ヶ岳山行報告書

M0 上村拓

【参加メンバー】

M3 堀江 C2 上村 C1 大橋 的場 計 4 名

【コースタイム】

7 月 4 日（土） 都内 04:00～(車)～06:30 道の駅みとみ 6:45～8:10 沓切沢橋 ～10:25 雁坂峠 10:45～

11:25 雁坂嶺～12:40 破風山～14:53 甲武信小屋 16:30～1645 甲武信ヶ岳～17:10 甲武信小屋

7 月 5 日（日） 甲武信小屋 06:15～07:40 新道分岐～09:40 西沢山荘～10:20 道の駅みとみ

【本文】

季節は梅雨の真っ只中、見事に予定日は雨、一週間遅れての甲武信ヶ岳山行である。この山行はテント泊山行という位置づけで、テント未経験の新入部員にテント泊を体験してもらうことが目的である。そういうわけで重めの装備を背負い、少しでも負担を減らそうとなだらかに見える雁坂峠経由で山頂をめがけえっちらおっちら登っていった。

道の駅みとみからまずは長い車道歩き。多少道を間違えるも地図とにらめっこしさりとりカバリーして進む。まだまだ足取りは軽い。天気もまずまずである。車道にうんざりし始めたところで沓切沢橋へ着く。一服してだらだらと沢沿いを登る。沢の水量はそう多くなく、渡渉も難無し。1 時間ばかり歩いたところで峠への急登への取り付けである。一転ハードな登り、多少の岩場、トラロープを越えていく。高度を上げるにしたがって段々とガスってきた。やっとこさ雁坂峠に逢着、辺りは真っ白、展望なし。随分と渋い山行である。個人的にはこういう山行も好みであるが、さて他の方々は如何か。しかしこの雁坂峠、なんといっても日本三大峠の一つである。すげー。日本三大〇〇なんて持ち上げられると否応なしに気分も高揚するというものだろう。由縁を見るに、なんでも日本武尊が歩いた日本最古の峠道とのこと。日本最〇なんて言われると否応なしに以下略。因みに日本三大峠あと 2 つは三伏峠と針ノ木峠だそう。機会があれば行ってみよう。さて、ここまで来れば後は稜線歩き、楽なもんだろうとルンルン気分で歩き出す。立ち枯れ気味の木立の中を抜けていくと雁坂嶺。そこから枯れ木の数が目立って増し、倒木も増える。なかなか歩きにくくて味がある道である。意外と登って破風山まで到着。相変わらずすっきりしない天気。皆さん少しお疲れの様子。重い荷物は応えるよね。そこからこれまた意外に急な坂道を下っていく。その先に避難小屋。これは割ときれいでしっかりした小屋であった。中に入って身を休める。辺りは霧。ちょっと寒い。さあこれが最後の登りと乾坤一擲歩き出すが、しばらくしてとうとうあめが降り出し意気消沈。どうにかこうにか小雨の中甲武信小屋へ到着。雨の中テントを張るのは気が進まないので取りあえず小屋でカップラーメン。美味しい。テント張りたくない。小屋泊りも考えたがこの山行の目的をないがしろにするのはいかんということで、雨が途切れた一瞬を狙ってテントを張る。テン泊経験者が多いだけあってスムーズにテンパれたと思う。その後、しばらく雨が落ち着いていそう

2015 年 7 月 4 日～5 日

だったので、今のうちに山頂へ行っちまおうと空身で登頂。無論展望はないが物凄く渋くキマッた感じがよい。みんなで記念撮影。テン場へ戻って夕飯。19 時ごろまで駄弁って就寝。

翌日は下るだけなので楽なものである。天気は回復していたが皆さん疲れていた様子だったので山頂ピストンも木賊山も華麗にスルーして下山路へ。ガスも晴れ周囲を見渡すことができた。樹林帯に入り急坂をぐんぐん下っていく。途中咲いていたシャクナゲがかわいい。見事に山と高原地図に書いてあることを確かめながら分岐へ。徳ちゃん新道を選び進む。しかしこの急坂は登りに使っていたら難儀だったろうなと思いながら下っていき、西沢山荘に到着。まだ 10 時前。西沢山荘はいかにも閉鎖中といった、さびれた雰囲気。とにもかくにも急な下りを終え一安心。意外に疲れた足を引きずって車道を 40 分ほど歩くと道の駅みとみが見えてきた。

今回はキラキラしたところのない山行であったが、テント泊をするという目的は果たせた。テント泊ができることで山行の可能性は一気に広がるので、今後も是非ともテント泊の山行へ参加していただきたいものである。

